

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	乳房外 Paget 病	
	タイプ	ガイドライン（取扱い規約）	
タイトル情報	論文の英語タイトル		
	論文の日本語タイトル	皮膚悪性腫瘍取り扱い規約	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	PagetCQ14-1	
書誌情報	エビデンスの レベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 専門委員会や専門家個人の意見 （ VI ）	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	皮膚悪性腫瘍取扱い規約 2002年6月第1版	
	雑誌 ID		
	巻		
	号		
	ページ	58-71	
	ISSN ナンバー	ISBN 430740033	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 1 ）	
	発行年月	2002	
	著者情報		氏名
筆頭著者			日本皮膚悪性腫瘍学会/編
その他著者 1			
その他著者 2			
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	取り扱い規約
	データソース	記載無し
	研究の選択	記載無し
	データ抽出	記載無し
	主な結果	（経過観察法について） 根治手術がなされた場合の乳房外 Paget 病（表皮内癌、微小浸潤例）の 5 年生存率は、どの報告でも 90%以上。 浸潤癌では全身検索が不可欠。
	結論	表皮内癌、微小浸潤例では、原発部、局所リンパ節部を中心に 1 年目は 1 ～3 ヶ月毎、2、3 年目は 3 ～4 ヶ月毎、4 年目以降は 6 ヶ月毎程度でよい。浸潤癌では一般検査は 3 ヶ月毎、胸部 X 線は 3 ～6 ヶ月毎、腹部エコーは 6 ヶ月毎～1 年毎程度に行う。
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	古賀 弘志
レビューワーコメント	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ VI ） エキスパートオピニオンである。